



みんぱく創設50周年記念国際シンポジウム

# 海域からみる人類の文化遺産

2024年5月11日(土) 12日(日)

10時30分～16時30分(10時開場)

国立民族学博物館

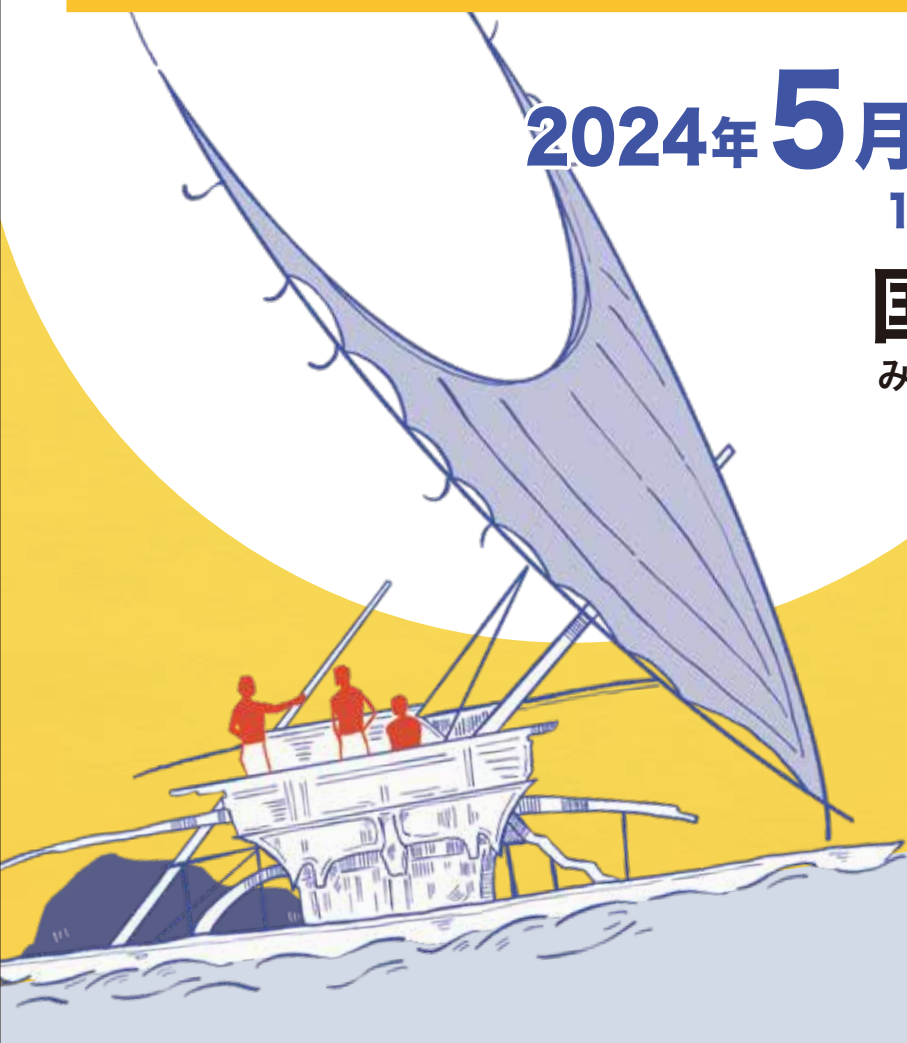
みんぱくインテリジェントホール(講堂)

形式 会場＋オンライン配信

◎日英同時通訳あり

参加方法 事前申込制・参加費無料

※展示の見学には観覧券が必要



本シンポジウムは、国立民族学博物館(みんぱく)の半世紀にわたる研究成果をふまえ、「海からの視点」に注目しながら、人類の文化遺産をテーマとします。従来の人類学・考古学、あるいは地域研究では、陸からの視点による研究が主流となる傾向がありました。本シンポジウムでは、主に海域アジアやオセアニアにおける有形・無形の文化遺産をめぐる現状と課題についての総合的な検討をおこなうことで、陸域よりも海域の視点から新たな研究の展開を構想します。

主催



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

共催



海域アジア・オセアニア研究  
Maritime Asian and Pacific Studies

# 5月11日(土)

## 10:30-10:40 開催の辞

▶吉田 憲司(国立民族学博物館長)

## 10:40-10:45 シンポジウム全体の紹介

▶小野 林太郎(国立民族学博物館)

## 有形文化遺産の現状と博物館

### 10:45-11:00 趣旨説明と発表者紹介

▶小野 林太郎(国立民族学博物館)

### 11:00-11:30 インドネシアの文化遺産保護における官・民・人の連携

▶Marlon Ririmassei(インドネシア国立研究イノベーション機構所長)

### 11:35-12:05 ジャカルタ海洋博物館の文化遺産保存の取り組みとその展開

▶Mis Ari(インドネシア海洋博物館長)

### 12:10-12:40 マレーシアの博物館におけるセイルガードコレクション:そのテーマと意味

▶Nasrulamiazam Bin Mohd(ペラック州立博物館長)

## オセアニアのカヌーと文化復興

### 13:45-14:00 趣旨説明と発表者紹介

▶小野 林太郎(国立民族学博物館)

### 14:00-14:30 ネットワーク知とウィンドシステムナビゲーションの継承

▶Marianne "Mimi" George(ソロモンの航海者)

### 14:30-15:00 レジリエンスのある航海

— NGO 法人 WAM の太平洋における持続可能な取り組み

▶Alson J. Kelen(ミクロネシアの航海者)

### 15:00-15:15 休憩

### 15:15-15:45 カヌーに秘められた島の知恵 ~カロリン諸島のカヌー建造と航海~

▶宮澤 京子(海工房ディレクター)

### 15:45-16:15 人類の海洋世界への進出:環太平洋の原初的船の再検討

▶後藤 明(南山大学)

### 16:15-16:30 1日目閉会の辞

▶小野 林太郎(国立民族学博物館)

## ●申込方法

下記 URL または QR コードにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申し込みください。  
<https://www.senri-f.or.jp/50thsympo/>



## ●申込期間

2024年3月1日(金)~5月2日(木)

## ●定員

【会場参加】350名(要事前申込み/先着順)

【オンライン配信】500名(要事前申込み/先着順)

※定員に達し次第、受付を終了します。

参加費  
無料

※展示の見学には  
観覧券が必要

## ●お問い合わせ先

シンポジウム事務局(千里文化財団内)  
50thsympo@senri-f.or.jp  
06-6877-8893(平日9時~17時)

## ◎催し詳細ページ

[https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec\\_event/49965](https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec_event/49965)

※本プログラムは人間文化研究機構のグローバル地域研究推進事業のうち、  
海域アジア・オセアニア研究プロジェクト(MAPS)との共催として開催するものである。

## 国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

●開館時間……………10:00~17:00(入館は16:30まで)

●休館日……………水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)

### 交通のご案内

●大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分

●バス……………阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

●乗用車……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

※本シンポジウムにご参加の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、  
みんぱくへ行くこととお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

●観覧料……………一般580円/大学生250円/高校生以下無料  
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

Tel: 06-6876-2151(代表) Fax: 06-6875-0401

<https://www.minpaku.ac.jp/>

# 5月12日(日)

## 樹皮布とカジノキ—起源・伝統・アート

### 10:30-10:45 趣旨説明と発表者紹介

▶小野 林太郎(国立民族学博物館)

### 10:45-11:15 樹皮布の物語:フィジー人の宝を守る博物館の取り組み

▶Sipiriano Nemani Ranuku(フィジー博物館長)

### 11:20-11:50 ソロモン諸島およびフィジー共和国における樹皮布文化の多様性と継承

▶緒方 良子(北九州市立大学)

### 11:55-12:25 トウトウイラ島におけるシアポ(樹皮布)製作の現在

▶Reggie Meredith(樹皮布専門家)

### 12:25-12:30 午後のセッション案内

### 12:30-13:30 休憩

### 13:30-14:00 タバを通して過去・現在・未来をつなぐ —サモア国立博物館と国際芸術センター青森で持ちうる視点から

▶慶野 結香(青森国際芸術センター)

### 14:05-14:35 カジノキの遺伝子が語るオーストロネシア人の拡散

▶Kuo-Fang Chung(中央研究院(台湾))

### 14:35-14:45 休憩

### 14:45-15:30 オセアニア人のたから(宝・財・貨・幣)

▶福本 繁樹(美術家)

### 15:35-16:05 樹皮布 カジノキの木の日本の展開

—タバ・倭文(しづり)・荒妙(あらたへ)—

▶北村 皆雄(ヴィジュアルフォークロア代表)

### 16:10-16:30 総括 閉会の辞

▶小野 林太郎(国立民族学博物館)

## 発表者一覧



Marlon Ririmassei



Mis Ari



Nasrulamiazam Bin Mohd



Marianne "Mimi" George



Alson J. Kelen



宮澤 京子



後藤 明



Sipiriano Nemani Ranuku



緒方 良子



Reggie Meredith



慶野 結香



Kuo-Fang Chung



福本 繁樹



北村 皆雄

